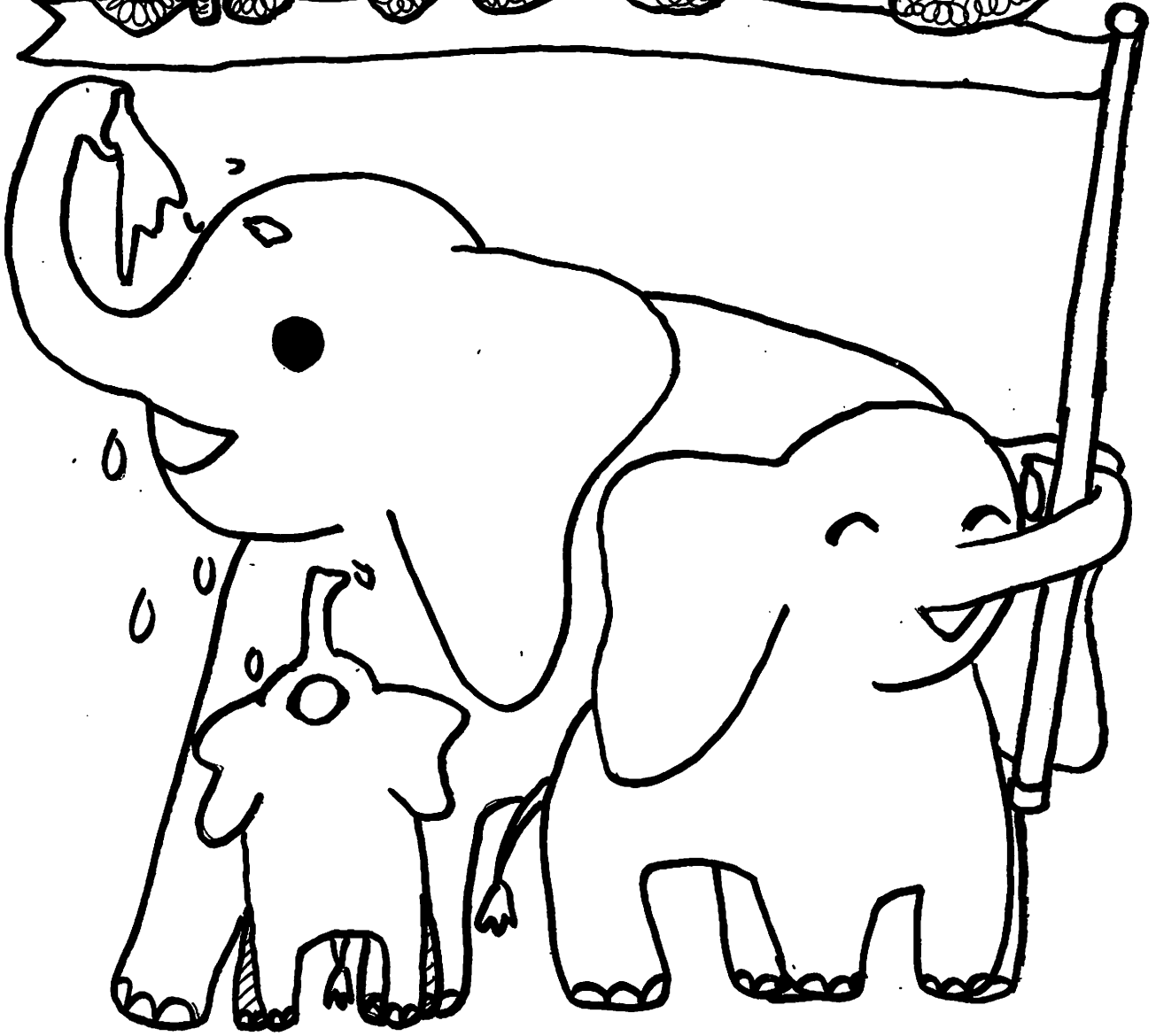


あおぞら



平成27年度

上半期

山口BBS会

総務部発行

広報誌

いれい☆メイト

4月ぶれい☆メイト

工作：ころころめいろをつくろう

導入：おてらのおしょうさん

交流1：進化ゲーム

交流2：並び替えゲーム

自己表現：ジャムをつくろう(リレー)

私はリーダーとして4月ぶれい☆メイトに参加しました。約1年ぶりのリーダーで最初は少し緊張していましたが、子ども達の楽しそうな姿を見てすぐに緊張がとけました。大学生との手遊びや進化ゲーム、チームに分かれてのリレーなど、子ども達全員が参加できるぶれい☆メイトになったと思います。またリレー後、子ども達が恥ずかしがりながらもバンザイをしてくれてとても嬉しかったです。今回は大人しい子どもが多く、世話役の話を静かに聞いてくれるなど、進行がとてもスムーズにできました。しかしこれに満足することなく、これからは1年生に教える立場として1年間の経験を活かして頑張りたいと思います

4月ぶれい☆メイトは2年生が去年のぶれい☆メイトの経験を活かす活動となりました。いつもの内容といくつか異なる点があり、少ない人数でもしっかりとした内容となっていました。初めて参加した1年生のお手本にもなったと思います。また、子どもたちは大人しい子が多く参加しており、工作とレクリエーションもスムーズに進行できていました。2年生も楽しく活動をしていたので、これを見た1年生がBBSに参加し積極的な活動をしてくれることを期待しています。次は3年生最後のぶれい☆メイトなので、悔いのないようなものを作っていきたいと思います。



5月ぶれい☆メイト

工作:ぐんぐんロケット

導入:きしゃきしゃしゅっぽっぽ

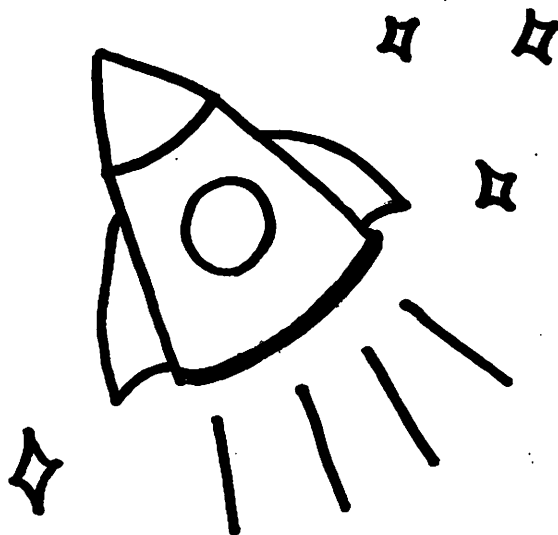
交流1:なかまを探そう(声集まり)

交流2:そろえて、はいポーズ

自己表現: お子様ランチをつくろう(リレー)

5月ぶれい☆メイトは、3年生が主導で行う最後のぶれい☆メイトでした。今回は、参加できる3年生の人数が少ないということもあり、不安な点多々ありましたが、子どもたちを楽しませること、初めて参加する一年生の手本となることを意識して行いました。その結果、子どもたちの笑顔も多く見られ、3年生の集大成と言えるぶれい☆メイトになったと思います。これからは、私たちが学んできたことを後輩にしっかりと伝え、会員全員でより良いぶれい☆メイトを作り上げていきたいです。

僕は、1年生なのでBBSの活動を始めてから最初のぶれい☆メイトでした。小学生の男の子担当ということで始まる前はやる気に満ち溢れていましたが、直前になると緊張してきて子どもとどう接するべきなのかずっと考えていました。しかし、実際に一緒に遊んでみると、子どもの頃に戻ったように最後の最後まで僕も楽しんでいました。今回反省したのは、子供が走っていったのを追いかけるのが遅かったことです。もし、自分の見ていない所で怪我をしていたらと思うと反省しないといけなと感じます。子どもをあずかる身であるということを忘れないように次回のぶれい☆メイトは頑張りたいと思います。



6月ぶれい☆メイト

工作:ワクワクすいぞくかんをつくろう

導入:むすんでひらいて

交流1:じゃんけんれっしゃ

交流2:みんなでピョン

自己表現:かえるのファッションショー(リレー)

6月ぶれい☆メイトで私は初めて世話役をさせていただきました。私は、はじめの練習でゲームのルールを子ども達に分かりやすく伝えることに苦戦しました。そのため本番では子ども達に私の説明でルールを分かってもらえるか心配でした。しかし、子どもたちは私の心配をよそに、どのゲームにも子ども達が楽しそうに参加していて、難しいゲームにも頑張って挑戦していました。そのような子ども達の姿が見れたことが何よりも嬉しかったです。次のぶれい☆メイトでは、もっとたくさんの子ども達の笑顔が見れるようにしたいと思います。

今回の6月ぶれい☆メイトは1年生、編入生にとって最初のぶれい☆メイトでした。初めてだったこともあり、全体的に登場時に少し緊張しているような印象を受けました。しかし、子ども達とのやり取りを通じて緊張が解れたのか、自然と笑顔になっていたのが良かったです。さらに、工作の水族館や自己表現のカエルの内容、リーダーのバンザイなど、アイデアが凝っていて面白いなと感じました。多少のトラブルがあったにも関わらず、自分達で考えて対応している場面もあり、また子ども達も楽しんでいたので非常に良いぶれい☆メイトであったと思います。



七夕ぶれい☆メイト

工作:七夕かざりをつくろう

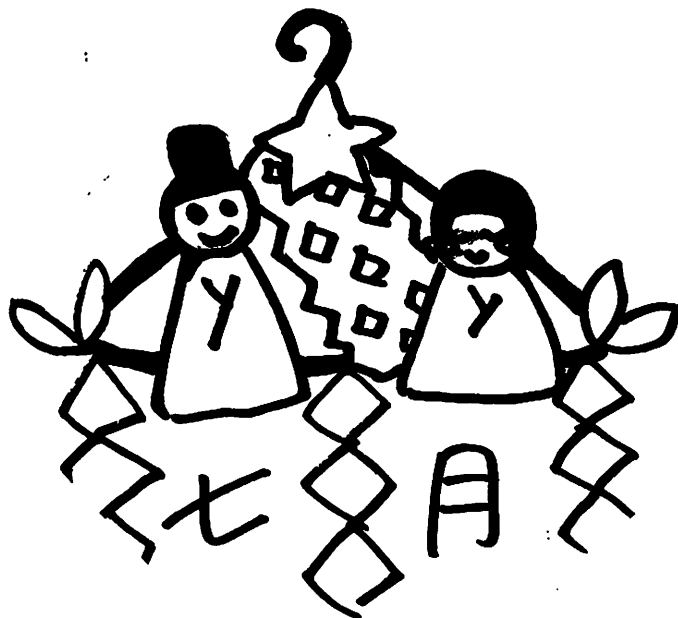
紙しばい(七夕のお話)

交流1:猛獣狩りに行こう(数集まり)

自己表現:虫をとりに行こう

私は紙芝居をしました。最初は正直、「私には無理なんじゃないか」「声小さいしどうしようか」など考えてできるか不安でした。しかし、練習をすることで自分にもできるんじゃないかと思い始めるようになりました。本番ではもう少し声をだせたのではないかと反省しつつも子どもたちが喜んでいたので楽しかったです。ぶれい☆メイト自体も成功して子どもたちの笑顔がみれて楽しかったし、幸せでした。子どもたちと遊ぶのはやはり楽しいと改めて思いました。また機会があれば子どもたちと遊びたい思いました。

今回のぶれい☆メイトは七夕ということで紙芝居と工作とレクリエーションの3つがありました。紙芝居では子どもたちは真剣に紙芝居を見ていました。工作ではハンガーを使って七夕飾りを作りました。織姫と彦星を一生懸命折り紙で作ったり吹き流しや天の川などのいろいろな飾りを作ったりしました。最後にレクリエーションでは「猛獣狩り」をしました。子どもたちは真剣に猛獣の名前を聞いて集まれています。リレーでは虫をとりに行こうということで一生懸命ジグザグの草を避けて虫を捕まえています。1年生はまだ2回目のぶれい☆メイトで慣れないところがありましたが、大きなミスもなく大成功という形で終わることができました。



山口市山口児童館

いつもお世話になっています。4月から、子どもたちも、BBSさんたちも、新しい顔を迎え、今年度も元気で楽しいぶれい☆メイトが始まりました。昨年は、児童館の大工事が半年に渡って行われ、いろいろな行事(クリスマス会、運動会等)が取りやめになりました。BBSのみなさんにはご迷惑をおかけしました。(特に1年生のみなさん)

今年度はリニューアルした児童館で、気持ちも新たに、いろいろなことに取り組んでいただけることと思います。子どもたち一人ひとりとの出会いを大切に、有意義な一年にして下さい。

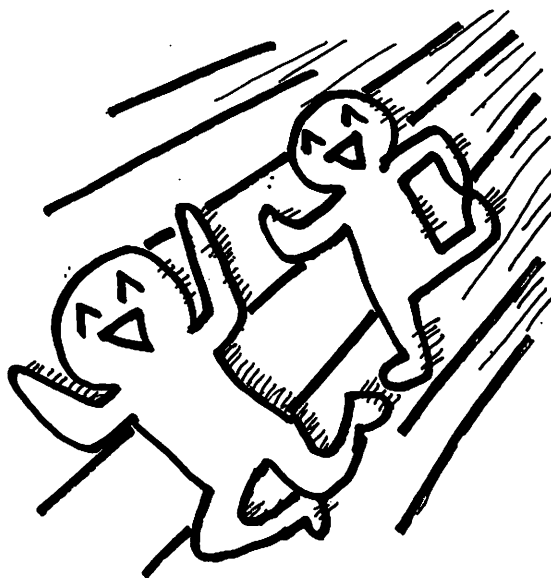
今年度もよろしくお願いします。

育兒院

遊びの訪問(5月)

遊びの訪問とは、月に一度、子どもたちと遊ぶことを目的に施設を訪問する活動です。遊びの内容は自由で、子どもたちがその日にしたいことを大学生と一緒にいきます。何人ものお兄さんに囲まれて外で遊ぶ子、1人のお姉さんと一緒に遊ぶ子、様々な過ごし方があります。子どもたちも私たちも、この月に一度の活動をいつも楽しみにしています。

初めての遊び訪問で、右も左もわからず、かなり戸惑いがありました。子どもと触れ合うということ自体に、戸惑いはありませんでしたが、遊びの訪問でのルールのことをかなり気にしてしまい、笑顔でいることができたか、話をする時、目を見て同じ目線で話すことができていたかなど、反省点が多い遊びの訪問になったと思いました。しかし、子どもたちはとても笑顔で楽しそうに遊んでいて、雰囲気がとても良いと思いました。仲がよく、元気でこちらも楽しい時間を過ごすことができました。今回の訪問で、これからの遊びの訪問や学習指導などの際にどうすればよいか、考えることができました。

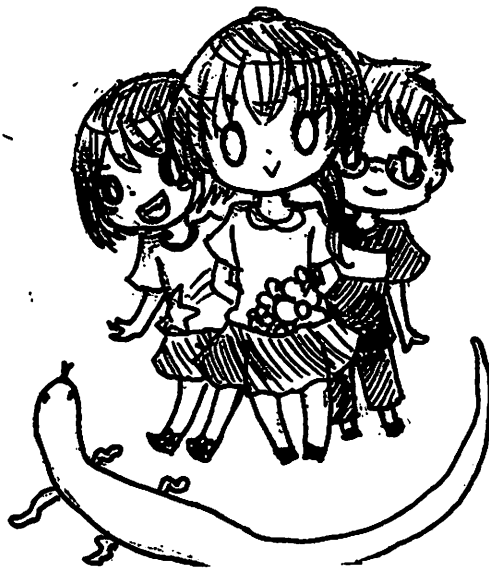


遊びの訪問(6月)

遊びの訪問とは、月に一度、子どもたちと遊ぶことを目的に施設を訪問する活動です。遊びの内容は自由で、子どもたちがその日にしたいことを大学生と一緒にを行います。何人ものお兄さんに囲まれて外で遊ぶ子、1人のお姉さんと一緒に自分の部屋で遊ぶ子。様々な過ごし方があります。子どもたちも私たちも、この月に一度の活動をいつも楽しみにしています。

今回初めて遊びの訪問に行きました。小学生が多くとても元気がよかったです。人見知りするような子どももいないので、とても親しみやすかったです。子ども達と触れ合う前に「こんな遊びをしたらいいんじゃないか」「人数が少なければこの遊び」などを考えていたのですが、子どもの方からあれがしたいという声がでてきました。中心になって取りまとめる子どももいれば、ルールを補助する子どももいました。ちょっとした社会が形成されていました。子どもは大人が思っているより子どもではないと気づき、感心しました。

子どもに与えるばかりではなく与えられることもあり、私も考えさせられることが多々ありました。今後も子どもと共に学び、遊んでいきたいです。



社会参加活動

社会参加活動

活動内容:坐禅

昨年に引き続き2度目の参加でした。良い雰囲気でも活動に取り組めたと思います。皆姿勢を正されながら頑張っていて、その後には打ち解けた様子が見られました。警策に打たれて「痛かった!」と言いながらも笑顔が見られました。レクリエーションは楽しく、初めは小さかった声も次第に大きく出るようになりました。掃除も全員で分担し手早く行うなど活動は最後まで和やかでした。私を含め参加者は活動を通して、心身ともに前向きな姿勢になったのではないのでしょうか。改善点も多く見つかったので、今後の活動はさらに良い活動をつくる事が出来るのではないかと思います。



依賴行事

中国地方BBS会員研修会

中国地方のBBS会員が集まり研修会を行うことでBBSや更生保護について学習する研修会

私は、7月11、12日の2日間、鳥取で開催された中国地方BBS会員研修会へ行きました。この研修会で、様々な環境で活動してきた人たちと一緒に、イベントの企画をするという貴重な体験をすることができました。

名探偵コナンのパロディに合わせ、怪盗キッドからの挑戦状として、企画が始まり、イベントが開催される月、予算、時間をくじ引きで決め、場所や内容を考えるというものでした。

この他にも、講演や交流会を通して、子どもたちのこと、人と人の繋がり・人を信頼するということ、他地区のBBSの活動など、様々なことを学ぶことができました。

今回の研修会で得た知識や、考えたことを、自分だけでなく、参加出来なかった会員とも共有することで、より意味のあるものにしていきたいと思います。



地藏祭り

地藏祭りは、先生と子どもたちで、施設内だけでなく日頃お世話になっている方々を招待して、おもてなしをしようという行事です。午前中は坐禅を行い、午後は子どもたちと食事をしたり、出し物を見たりしました。子どもたちの新たな一面を伺うことができる充実した一日でした。

地藏祭りではまず育児院の子ども達と座禅を行いました。お寺の本堂に集まり、座布団をおしりの下に挟んで行いました。座禅は短い時間を3回に分けて行いました。朝早くから境内の掃除などをやっていたそうで、座禅に来た時には少し疲れている子どももいましたが、子ども達もとても真剣に座禅をやっていました。その後育児院の施設に戻り、お昼ご飯を食べました。人がたくさん集まるイベントだったので、ご飯も大人の方だけでなく子ども達も手伝って作ったようで、とても美味しいものばかりでした。子ども達の学校の先生とも話す機会があり、とても緊張しましたが楽しい活動でした。

